

《演習科目 演習科目》

科目名	専門演習				
担当者氏名	山崎 徳子、アレックス・M・林、井上 敏孝、植原 和彦、大隅 敏明、岡 美佳、笠川 武史、加藤 達雄、坂口 静子、佐谷 力、荘司 泰弘、白川 晴美、中村 哲也、昇 慶一、ビル ロッケンバッハ、山田 義則、吉田 健、丸井 理恵、山本 元子				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	4年・通年（春期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<input type="radio"/> 演習-1 国際社会に貢献できる人材育成 <input type="radio"/> 演習-2 豊かな人間性の醸成 <input type="radio"/> 演習-3 コミュニケーション能力の向上 <input checked="" type="radio"/> 演習-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

国際こども教育学部にふさわしい卒業論文を作成できる知識・技能の修得をおこなう。

専門書の読み方の演習 諸資料の収集の仕方と処理の仕方
 演習 卒業論文のテーマ決定に向けての指導とその分野に関しての小論文の作成指導

《テキスト》

授業時にプリント等を配布。

《参考図書》

随時、資料は授業時に紹介する。

《授業の到達目標》

卒業研究に必要な専門的知識の基礎を獲得すること。
 研究の方法を身につけて、論理的な文を書くことができるようになる。

《授業時間外学習》

授業時間外で資料収集・調査や論文作成をすることが多い。その内容を授業で報告することがある。

《成績評価の方法》

秋期終了時に卒業論文の報告及び論文提出が必修条件である。
 報告・論文 80%、総合所見 20%により評価する。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	研究室指導	研究の実施報告、個人面談
2	研究室指導	研究の実施の修正、個人面談
3	研究室指導	研究の実施
4	研究室指導	研究の実施内容の発表
5	研究室指導	研究結果の整理
6	研究室指導	研究結果の報告
7	研究室指導	研究結果の文章化
8	研究室指導	研究結果の文章化（個別指導）
9	研究室指導	研究結果の文章化（集団指導）
10	研究室指導	研究結果の文章化修正
11	研究室指導	研究結果の文章化、報告会の内容整理
12	研究室指導	報告会の内容決定
13	研究室指導	報告会準備
14	全体指導	第1回卒論報告会参加（前半）
15	全体指導	第1回卒論報告会参加（後半）